



〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL(088)833-4394 FAX(088)833-7373 <https://www.tosaobog.com>



## 2021年度 土佐中・高等学校同窓会総会



左から、西山彰一新会長、退任の岡内紀雄会長・横田整二副会長、矢野公士新幹事長

### 会長就任のご挨拶



土佐中・高等学校同窓会  
会長 西山彰一(48回生)

2021年8月14日総会で、土佐中高等学校同窓会第12代会長の大役を仰せつかり心から感謝いたします。私は本校が創立90周年を迎えた2009年から、第11代岡内紀雄会長(34回生)の下で幹事長を務めさせていただきました。ほぼ毎月開催される常任役員会で、同窓生の近況、同窓会会員名簿にかかわる情報の精査、システムの管理、そして恒例となったホームカミングデー実行委員会の支援・同窓会総会の準備、支部との定期的交流などの職務を本部事務局として担って参りました。また5年に一度の会員名簿発行は、同窓会にとりまして大変大きな事業であります。2020母校創立100周年記念会員名簿」では、名簿委員長としてその任務を果たすことが出来ました。

社会環境の変化、価値観の多様化、昨今のコロナ禍での制約が多い中でも活動を絶やすことなく継続できたことは、偏に同窓生の皆様のご理解とご協力があったことと感謝いたします。

新たな役員体制の下、歴代の諸先輩方の足跡を大切に、「不易流行」「日々新たなり」「報恩感謝」を心に刻み、精進を重ねて参ります。みなさまと一緒に同窓会の活動が楽しく、実り多く、交流の輪が広がっていくことを日々願い、運営をさせていただきます。会員の皆様のご支援、ご協力をお願いするとともに母校のさらなる発展、未来への道が切り拓かれることを祈念し、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。







岡内前会長

横田前副会長

# ありがとう！ご支援に感謝

前会長

岡内 紀雄（34回生）

私は、今年8月の総会をもって会長を退任いたしました。宮地貫一前会長（21回生）の後を受けて、2009年8月の総会で11代目の会長に選任され、以来12年間、会長を務めさせていただきました。

この間、大過なく職責を果たしてこられたのも偏に代表役員をはじめ会員みなさんのご支援の賜と厚くお礼を申しあげます。

毎年1月末の土佐高卒業式で、後輩のみなさんに饒の言葉を贈らせていただいたこと、2010年版から20年版までの3回に亘って、会員名簿の発行に携わることができたこと、そして昨年は、母校創立100周年の記念式典で祝辞を述べる機会を与えられたことなど、私にとって最高の思い出となりました。

これまでに二度ばかり辞意を表明いたしました。が、都度役員のみなさんからの慰留を受け、それに甘んじて続投してまいりました。が、今年80才になったこともあり、会長の若返りを図るべきだと考え、永らく幹事長を務めて下さっ

た西山彰一さん（48回生）を後任の会長として推薦させていただきました。

新役員のみなさんには、様々な課題に英知を結集して取りくむとともに、年々変わりゆく会員の意識に向き合い、新しい感性でもってより良い、新世代にふさわしい同窓会活動を目指してのご活躍を期待しています。

会員のみなさん、本当にありがとうございました。

前副会長

横田 整二（40回生）

私の同窓会活動は30数年前に卓球部の先輩より会員名簿の編纂の手伝いを依頼された時から始まる。

5年に一度の名簿発行による収益金はその後5年間の同窓会活動資金となるため、名簿協力金、広告収入は欠かせない資金源である。最近では名簿作成は専門業者に外部委託しているが、当時の私は一軒一軒卒業生に電話をかけた広告をお願いした。多くの卒業生が広告を快く引き受けてくれ「ご苦勞様。頑張ってください。」との励

ましの言葉をいただき感激したものである。

名簿発行も時代の変化とともに個人情報保護、セキュリティの確保、紙ベースでの発行の限界など、多くの課題を残している。こうしたなかで困難にぶつかるとともに、今は故人となった口うるさい先輩の「会員名簿は同窓会の命やき。」の言葉が耳から離れない。

2009年、岡内会長の誕生とともに、私は副会長として活動することとなった。振り返ると新校舎建設をめぐり賛否両論が飛び交うなか、学校が大きく揺れ動いた時のことや、池上元校長から次期校長についてお話を伺うなかで、私の竹馬の友である山本芳夫君の校長就任の一翼を担うことができたことなど、懐かしく思い出される。また月一度の役員会で、同窓生と議論を交わしたことなど、楽しい思い出ばかりである。

8月14日の総会では西山彰一会長、矢野公士幹事長はじめ、心強い新役員が選出された。皆さんには引き続き母校の隆盛、同窓会の発展のためにご尽力をいただきます。



# コロナ禍の大学生活

東京大学理科一類2年生 尾崎 泰崇 (95回生)

皆様初めまして、95回生で東京大学理科一類の尾崎泰崇と申します。今回はコロナ禍の学生生活について、私自身のこれまでの軌跡を記す形でお話させていただきます。こうと思います。

## 入学と同時にオンライン授業とサークル活動禁止

そもそもこのコロナ禍の幕開けともいえる国内の感染第一号が確認されたのは、実はセンター試験の直前でした。受験シーズン真っ只中の敏感な時期にこのような不穏なニュースが飛び込んだことに、少なからず不安を感じたのを覚えています。少しずつ感染者数が増加する中ではありましたが、二次試験を経て私は東京大学理科一類に合格しました。しかし、新天地での大学生活への期待も束の間、コロナウイルス感染症対策として一気にオンライン化の流れが押し寄せてきました。もちろん東京大学もその例にもれず、5000を超えざる全ての授業の全面的なオンライン化がなされました(学事暦の変更なしにこれが実現できたのは、ひとえに情報基盤センターの多大な労力のおかげであります)。

1年のSセメスター(春学期)はサークル活動も禁止されており、大学関連の用事で自宅を出ることはありませんでした。しかしながらZoomを用いたクラス内の交流などがあつたほか、一部の授業ではブレイクアウトルーム機能が積極的に活用され、オンラインながらも学生間の交流の機会が設けられていました。また、履修した学生の人数が1000人を超えた授業があつたことが話題になりましたが、これほどの人数が同時に一つの授業に参加できるのもオンライン授業のメリットの一つだと思います。

**初めての対面授業で感動！  
嬉しかったサークル活動の解禁**

Aセメスター(秋学期)になると、適切な感染対策の下で一部の必修科目(第二外国語や実験など)については対面で授業がなされるようになりました。クラス単位での受講となる第二外国語の最初の対面授業で、オンライン上でしか交流のなかつた同じクラスの人たちと初めて会ったときには、ある種の感動のような不思議な気持ちになったのを覚えています。また、徐々にではありますがサークル活動も解禁され始めました。私は音楽系のサークルに参加していたのですが、それまではサークル同期ともオンラインでの交流程度しか出来ていなかったもので、対面での練習活動ができるようになったのは素直に嬉しかったです。

## コロナ禍の中でも充実した学生生活

無事2年に進学し、Sセメスターでは6月26、27日に入学者歓迎式典が開催されました。これは入学式が開催されなかつた令和2年度入学者向けに開催されたものです。私は両日とも所用で参加できなかったのですが、95回生の東大生の同期は参加していたようです。またワクチンの大学拠点接種も始まるなど、様々な取り組みのおかげで感染対策と両立可能な範囲で充実した学生生活が送れるようになってきたように感じます。

現在私は進学振り分けを終えたところで、教養学部統合自然科学学科に内定いたしました。心機一転、気を引き締めてこれからも邁進してまいります。最後になりますが、皆様お体にくれぐれもお気をつけてお過ごしください。

※東京大学で導入されているクォーター制(4学期制)では、1年間の授業期間が大きく前半のSセメスターと後半のAセメスターに分かれ、さらに各セメスターの前半の1チームと後半の2チームに分けられている。



▲感染対策の看板が立ち並ぶ、駒場キャンパス正門



▲東大2年生のための「入学者歓迎式典」  
6.26-27(コロナで1年遅れの入学式)

◀愛用のギターで、外出制限下でも楽しく気分転換



# 今なお現役 小児科医

## 濱田 義文 (22回生)



医療法人慈孝会はまだ小児科  
副院長

土佐高時代、小学校の校長を務めた叔父から聞かされた話である。

二人の行商人が重い荷物を背負ってきつい山道を登って来た。やっと峠にいた時、汗を拭きながら一人の行商人は、友達に言った。「この峠がこれほどきつくなかったら、仕事は楽なんだが」と。それに答えてもう一人の行商人は、「この峠がこんなにきついからいいんだ。もしこれが楽な道だったら、私たち二人でこんなに沢山の商売ができないだろう」と。他日の二人は大きな財を成したと言う。この話は、私の頭に長く残っていた。

### 博士論文のテーマに奮闘

大学を卒業し小児科教室で、臨床医学を学んでいるうちに、博士論文のテーマが与えられた。母乳栄養が人工栄養に勝る理由を、硫黄代謝の面から追及するものであった。このためには乳汁、便、尿に

含まれる硫黄の量を測定することが必要であった。これまでの内外の文献に従って、毎日夜半過ぎまで測定を繰り返すが、満足する値は得られなかった。指導教授からも折々に、厳しいご注意を受けるさまであった。或る時、教授は乳児栄養の研究会で同席された東大小児科の高津教授から

「先生の教室で硫黄の測定をしておられるが、あれはなかなか難しいですね」と耳打ちされたようで、それ以後教授のお叱りがなくなった。それから間もなく、先輩の先生から「こんな文献があるんだが参考になるかね」といわれて一つの文献を渡された。サマリーを読むなり「これだ」と直感した。闇夜に一筋の光を見る思いであった。それに従い、工夫を重ねた結果、満足する硫黄の測定法に到達した。

この研究を終えてから7、8年は経っていたと思うが、県立中央病院に勤務してい

る時、種痘後脳炎の患者さんの診断確定のため厚生省からの依頼で、徳島大学の宮尾教授がこられた。初対面のご挨拶にお伺いすると、「僕は君を知っているよ、硫黄の研究をしていただろう。あれはいい仕事だったよ」と言われた。代謝の分野で高名な先生に目をとめて頂いたばかりか、お褒めの言葉をいただき涙が出そうであった。

### 研究を通じて学んだこと

この研究を通して、いくつかのことを学んだ。第一は、取り組んでいる仕事が多ければ難しいほど、やりがいのある大きな仕事であるということ。次に一人でやみくもに努力をしている時でも、高所から仕事の難しさを理解し、その結果を評価して下さる方がいること。さらに、研究がどうしても前に進まぬ時は、同じ問題に取り組んでいる文献を広くさがすこと。日頃苦労をしていればいるほど、一行の文字から、即座に大きな啓示を受け、成功への道が開ける。

### 土佐校で学べた幸せ

私は、1941年土佐中学に入学しました。授業で驚いたのは、国語は巻三、藤田東湖の「天地正大の氣 粹然」として神州にあつまる」から始まり、しかも分からぬ語句はすべて辞書で調べるようにとの指

示でした。幾何学も、通常三年の課程を二年で終えました。当時の学制では、中学五年、高校三年、大学四年でした。ただ中学の課程を四年で済まし、試験に合格すれば高校へ進学できましたので、五年生に残る先輩は少数でした。土佐校の自学自習は、この中で育ったように思います。入学当時、全校生徒数は200名を越えましたが、終戦後は1学年で200名を越えました。間もなく、父兄、卒業生の中から、優秀な生徒を多数入学させながら、有名大学への合格者が少ないのではとの声が上がりに、学習指導の強化が求められました。しかし、学校は方針を変えませんでした。それは、生徒達は資質に優れており、自由に勉強させることで、個性が伸び、将来大きく成長すると考えられたからでしょう。私も息子たちも、土佐校に学んだことを幸せに思っています。



4月15日に開かれた「赤ちゃん会」講演会で、聴講をする浜田義文さん  
(高知市海軍航空工科大学の海軍病院勤務)

赤ちゃん会にて  
(高知新聞 2018年5月6日付より)



# 学校近況報告

コロナ禍でも土佐らしく

学校長 小村 彰 (49回生)

この夏は、コロナの急拡大によって、とくに後半、大きな制約を受けましたが、その中で、本校としてなんとか実施にこぎつけ、成果をあげた催し二つを紹介し  
ます。

## ★エンパワーメントプログラムを実施

八月十六日から五日間、国内の大学に留学生としてきている方に学校に来てもらい、英語でコミュニケーションを取りながら、テーマを決めてディスカッションやプレゼンをおこなうプログラムを実施しました。参加した外国からの参加者は十一人。本校の生徒は中三から高二までの五十三人。生徒五、六人に留学生一人でグループをつくり、さまざまな活動を行います。留学生の母国は、インドやブルネイ・ガーナ・ブルキナファソなどアフリカ諸国など多岐にわたります。当然、それぞれ訛りもあつたりしますが、生徒たちは次第に慣れて、どんどん積極的に発言するようになっていきました。その経緯を高二の生徒は次のように述べています。

「私はこのプログラムに本当に感謝しています。コロナのせいで海外研修はなくなつてしまつたけれど、彼らに出会えた

のはコロナのおかげでもあります。彼らの希望に満ちあふれた笑顔は私の不安をきれいさっぱり消してくれました。私がこのプログラムを通して一番大切だと思つたことは、失敗を恐れないこと。遠い国から夢を叶えるためにやってきた彼らは不安でいっぱいはずなのに、どうしてあんなに希望で満ちあふれているかわかるでしょうか。彼らは失敗を恐れないし、人の失敗を笑つたりしないからです。  
……(後略)」

感染が拡大する中で実施することには不安もありましたが、なんとか当初の計画通り実施することができました。人と人が直接にふれあうことは、子どもたちが成長するためにも、どうしても必要なことと改めて実感しました。



エンパワープログラムの様子

## ★運動会を実施

「先生、運動会だけはやって、蔓延防止等重点措置の適用を受けて、保護者に運動会の実施の可否について九月下旬に決定すると連絡したところ、すぐにかかつてきた電話です。中三生の母親で、本校卒業生。単に「楽しい」からにとどまらず、やぐらづくりやホームゲームの企画、それぞれの係での役割分担など、運動会を通じて成長していく姿を見ている私たちとしても、なんとかやりたいと校内で検討して出した結論が、半日での実施でした。騎馬戦や鯉の滝登りなどの種目を削り、種目数を大幅に削減し、昼食をとらずに終わらせる形を取ることにしました。運動会の醍醐味は大きくそがれ、無観客で声援もありませんが、とにかく運動会をやりたい、その思いで実施に向けて進んでいきました。準備も順調に進み、やぐらの最後の飾り付けをすればいいところまでできたのですが、前日午後二時半から約三〇分間、猛烈な雨。慌てて対応策を協議。結局、日程は予定通り、開始時刻を遅らせて正午開始としました。当日は澄み切った青空。立派にそびえるやぐらの前で、いつもと変わらぬ生徒達の懸命な全力疾走が展開されました。ここでも、人と人が直接関わり合うことの大切さを再確認したことでした。

間もなく、一〇一周年の創立記念日を迎えます。祝賀会は中止にしましたが、人と人の絆・繋がりを大切にす

伝統はさらに発展させていきたいと考えています。卒業生の皆さんの一層のご支援をお願い致します。



▲運動会「全校体操」2021.9.23



追記 この夏に、私自身も大変お世話になった旧職員の方々の訃報が相次ぎました。お名前を記し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

浜口未喜子先生

養護教諭

在職 昭和三十一年～平成十一年

河野浩先生

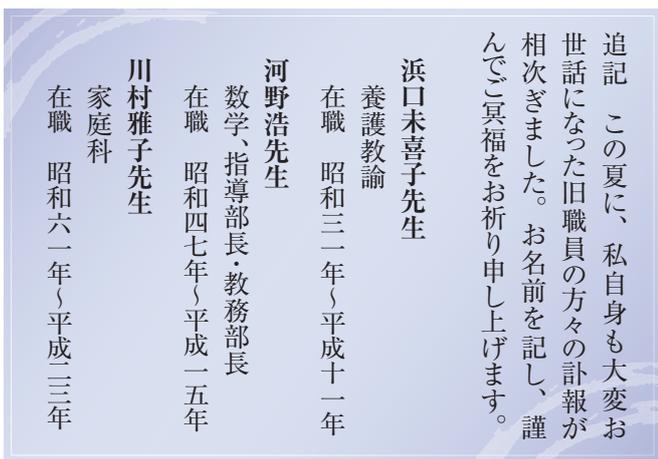
数学、指導部長・教務部長

在職 昭和四十七年～平成一五年

川村雅子先生

家庭科

在職 昭和六一年～平成二十三年



●合格の状況●

国立大学	現	過	計	進学
弘前大	1		1	1
山形大		1	1	1
群馬大	1		1	1
埼玉大		1	1	1
千葉大	1		1	1
東京大	3	1	4	4
東京工業大		1	1	1
一橋大	1	1	2	2
横浜国立大	1		1	
信州大		1	1	1
静岡大	1		1	1
滋賀大	1		1	
京大	3	1	4	4
大阪大	8	3	11	11
神戸大	7		7	7
奈良女子大	1		1	1
和歌山大	1		1	1
鳥取大	1		1	1
岡山大	13	1	14	14
広島大	4		4	4
徳島大	5	4	9	8
香川大	5	3	8	7
愛媛大	4	4	8	6
高知大	22	8	30	29
九州大	2	2	4	4
九州工業大	2	1	3	3
長崎大	1		1	1
宮崎大		1	1	1
計	89	34	123	116
昨年	119	57	176	161

私立大学	現	過	計	進学
自治医科大	1	1	2	1
東京国際大	3		3	
文教大		1	1	
千葉工業大	3		3	1
東京歯科大		1	1	1
青山学院大	1	1	2	1
桜美林大	1		1	
北里大	3	1	4	1
杏林大	2		2	1
慶應義塾大	5	3	8	5
國學院大	1	1	2	1
国際基督教大	1		1	1
国士舘大	1		1	
駒澤大	2		2	1
順天堂大	2	3	5	
上智大	1	4	5	
白百合女子大	1		1	1
成蹊大	1		1	1
拓殖大	2		2	1
玉川大	1		1	
中央大	3	9	12	3
津田塾大	1		1	1
帝京大	3		3	2
東海大		8	8	
東京医科大		1	1	1
東京電機大	1		1	
東京農業大		1	1	
東京理科大	2	10	12	5
東邦大	2		2	
東洋大		12	12	2

私立大学	現	過	計	進学
日本大	4	5	9	2
日本歯科大		1	1	1
法政大	2	5	7	
武蔵大		2	2	
武蔵野大	1		1	
明治大	13	9	22	3
明星大	1		1	
立教大		2	2	
早稲田大	12	4	16	7
東京工科大	2		2	
日本赤十字看護大	3		3	1
白梅学園大		1	1	1
麻布大	1		1	1
神奈川工科大	1		1	
金沢工業大	1		1	
松本大	1		1	1
岐阜医療科学大	1		1	
中京大		7	7	
南山大	1		1	
日本福祉大	2		2	1
京都外国語大	1	3	4	
京都産業大	13	5	18	3
京都女子大	1		1	1
京都薬科大	6	2	8	3
京都橘大	8		8	
同志社大	23	16	39	10
立命館大	49	23	72	9
龍谷大	5	13	18	1
大阪医科薬科大	8	2	10	5
大阪経済法科大	2		2	
大阪工業大	4		4	1
大阪産業大	2		2	2
大阪歯科大		2	2	2
大阪商業大	1		1	
大阪電通大		1	1	
関西大	13	4	17	1
関西外国語大	3	2	5	1
近畿大	45	20	65	3
四天王寺大	2		2	
摂南大	9	3	12	1
桃山学院大	5	3	8	2
大手前大	3		3	1
関西学院大	29	8	37	12
甲南大	7	1	8	
甲南女子大	1		1	1
神戸学院大	7		7	
神戸薬科大	6	3	9	2
姫路獨協大	1		1	
岡山理科大	4		4	1
川崎医科大		1	1	1
就実大	2		2	1
山陽学園大	1		1	1
広島工業大	2		2	
福山大	1		1	1
広島国際大	1	1	2	1
徳島文理大	6	4	10	3
松山大	6	6	12	1
高知学園大	3		3	3
福岡大	1	1	2	1
純真学園大	2		2	
計	373	217	590	122
昨年	371	275	646	125

公立大学	現	過	計	進学
釧路公立大	1		1	
国際教養大	1		1	1
横浜市立大	1		1	1
公立小松大	1		1	1
公立諏訪東京理科大		1	1	
名古屋市立大		1	1	
京都府立大	1		1	1
福知山公立大	1		1	1
大阪市立大	3		3	3
大阪府立大	2	1	3	2
尾道市立大	1		1	1
山口東京理科大		2	2	
高知県立大	2		2	2
高知工科大	4		4	4
北九州市立大	1		1	1
九州歯科大		1	1	1
計	19	6	25	19
昨年	27	13	40	30

短大・準大・海外大	現	過	計
短大	2	1	3
防衛大学校		1	1
防衛医科大学校	2		2
航空保安大学校	1		1
Middle Tennessee State University	1		1
The University of IOWA	1		1

# 2021年度大学入試総括

進路部長 藤岡 優太 (58回生)



が完了したかと思いきや突然の英語民間試験活用見送り発表。さらには共通テスト記述式の導入見送り。やっと落ち着いたかと思つと、年明けからの新型コロナウイルスの問題。以降、高3になってからも、一度発表された情報が直前に変更されるなど、確定したものが何一つない不安定な状況の中での入試対応が続いていきました。

「今、できる対策をしっかりと行う。そして、何かあればその時、状況に応じて対応する」受験対策(勉強)をしっかり、入試改革をしっかり、そしてコロナ対策についても。考え込みすぎず自分自身を追い込みすぎないようにと、生徒に(そして自

◆2021年度入試を振り返って◆  
共通テスト初年度の2021年度入試。96回生の挑んだこの入試を迎えるにあたっては本当にいろいろなことがありました。高2になるまで、新入試に関する具体的な情報が多量に発表されず、五月雨式に次々情報が発表されだし、手続きが

◆2021年度入試結果◆  
2021年度の入試結果です。現役の国公立大学の合格者は108(合格率は72.9%)でした。  
直近5年間(95→91回)の推移をみると146↑134↑119↑103↑118。新テストを控えた、この2年間(95、94回)の合格者は非常に多く、増加傾向でしたが、96回生では以前に戻った感じがします。また、現役合格率についても80.9%↑77.0%↑68.8%↑58.7%↑69.2%と同様の傾向となっています。

分自身にも)言い聞かせてきたものの、実際なかなかそこまで割り切れるものではありません。生徒のみならず保護者の皆様、主任・関係の先生方。2021年度入試は、例年とは比較にならない大きな負荷が、多くの人々に、継続してかかり続けた入試だったように思います。

- ◆現役国公立大合格数◆  
108 昨年146 一昨年134
- ◆現役私立大合格数◆  
373 昨年371 一昨年348
- ◆国公立大医学部医学科◆  
22名(現役16名+既卒6名)
- ◆難関国公立大(旧7帝大・神戸・橋東工)◆  
33名(現役24名+既卒9名)
- ◆東大◆  
昨年51名(現役30名+既卒21名)
- ◆京大◆  
昨年8名(現役4名+既卒4名)
- ◆東大・京大◆  
昨年9名(現役4名+既卒5名)

# 科学のオリンピック (ISEF2021) で世界とたたかう

テーマ：「地震時の副次的災害に伴う被害を考慮した避難経路の考察」

高橋 孝弥 (高三)

## ISEFとは

「International Science and Engineering Fair」の略で、「国際学生科学技術フェア」などと和訳されています。

世界75以上の国と地域の約700万人から選ばれた約1700人の高校生 (9-12grade) が自分たちの研究を披露しあう世界最大級の科学研究コンテストです。

半世紀以上も続いている伝統あるフェアで、毎年5月にアメリカの都市で開催されます。

## 自分の知っている世界は狭かった (ISEFに出場して)

2020年12月24日、日本学生科学賞の表彰式で、ISEFへの出場が内定したということが分かった瞬間、僕の鼓動が高まっていくのが分かりました。ですが、誰もが夢見る世界大会という大舞台に、僕自身が進むことができたことに信じられなかったです。内定直後はへらへらと「日本代表になった〜!」と周りの友人に報告していたものの、正直なところ不安でいっぱいでした。それからは様々な提出書類の発表資料の作成に追われる日々でした。自身の研究を見ただけでわかってもらえるような資料を作成することは難しく、それも慣れない英語での作成で時間がかかり、締切りの2分前に提出したこともありました(笑)。

## 今年は渡米できず、オンラインで参加

今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、日本からオンラインでの参加でした。研究発表・審査は、現地時間の午後10時から午前1時までで行いました。審査前日も緊張で一睡もできず、眠い空気を纏っての発表準備でしたが、ひとたび審査が開始してしまうと、眠いのも気にならないで3時間が一瞬で過ぎ去ってしまいました。

ISEFを通じて、英語力の大切さは身にしみて感じました。もともと、僕は英語が不得意で、出場に当たり英会話の練習など様々な練習を積み重ねました。しかし、それでも自身の英語力の低さを痛感させられました。審査員は、アメリカだけでなく中国やインドなど様々な国の先生方で、英語の発音が全く違い非常に聞き取るのに苦労しま

した(特にインド人の審査員は本当に聞き取れなかったです…)。しかし、言語や文化の多様性に触れられたことは本当に貴重な経験となりました。審査だけでなく、ファイナリスト同士の交流でも聞こえる言語は英語のみ!でも皆さん普通に会話していました。僕もそこに入って交流をしたのですが、伝わらないことも多かったです。一方で、自分の拙い英語でも、「伝えたいんだ!!」という意味さえあれば伝えることができる!ということにも気づかされました。

## 定まったこれからの目標

僕は受賞することができず、非常に悔しい結果となりました。しかし、このISEFでの経験はとてつもない刺激的で、間違いなく僕の人生に大きな影響を与えてくれると思います。ISEFに出場して、世界トップレベルの研究を間近に見ることが出来て、科学に対する関心がさらに強くなったと同時に、このままの自分ではだめだと思いました。もっと広い視野を持って、世界に通用する人間になりたい、これが僕のこれからの目標です。

ISEFへの派遣が決まってから本番までの期間は長いようで、短かったです。もちろん入賞を果たせなかったことは悔しいのですが、自分なりに十分に取り組めたので満足はしています。

感染拡大に伴い、先生方のご配慮で一時出場ができなくなっていました。しかし、僕の我儘を受け入れてくださり、無事、世界大会に出場することでしかできない貴重な体験をすることができました。この場をお借りしてお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。



▲高知新聞 2020.8.24 付  
潮江の液状化研究 (日米学会で優秀賞)



審査前



ISEF の僕のバーチャルブース

# 「向陽の空とは？」

## 校歌の歌詞を深読みする

公文 敏雄 (35 年生)



### 第一章 校歌一番

#### ① 向陽の空淺緑 廣きぞ自が心なる

【訳】 陽の光に映えて浅緑色に澄み渡った大空のような、広く大らかな心を持つのではないか。

「向陽」の意味については、新潟県立新潟向陽高等学校(新潟市)のホームページから引用させていただく。

一 向陽の空淺緑 廣きぞ自が心なる

大洋の岸物榮ゆ

伸ぶるは我の力なり

嗚呼幸多き天(あめ)と地(つち)

自然の啓示(さとし)かしこしや

三 孕灣頭(はらみわんとう)軒高く

兼山碑下(けんざんひか)に庭清し

協力一致誓して

集ふ同袍(どうぼう)意氣強し

嗚呼勉めよや竭(つく)せよや

冠する土佐の名に合(かな)へ

大正十一(一九二二)年五月

教諭越田三郎(国・漢担当)作歌

#### ★明治天皇の御製

ガーナ高校生とのよさこい国際交流の目玉「原宿スーパーよさこい」(写真1)の舞台として、土佐校生とも縁の深い明治神宮が、昨年十一月一日に『鎮座百年祭』を執り行った。たまたま本校と誕生年月が同じなのだ。その御祭神で、屈指の大歌人でもあった明治天皇が詠まれた和歌(御製Ⅱぎよせいとい)がある。



1. 明治神宮原宿口で踊る学生よさこいチーム (2018年8月橋田正幸氏・37年生撮影)

營は、十万本以上の木が津々浦々から献ぜられ、全国の青年団員ら数多の人々が奉仕した国民的大事業だった。かように人々が敬仰した、御祭神明治天皇の御歌をお借りすることのためには無かつたらう。ちなみに、同年創立の甲南女子学園(神戸市)も明治天皇・皇后の御歌を校歌としている。

#### ★恩賜の『向陽』

お勤めの合間合間に和歌を詠まれ、ご生涯の詠草が九万三千三二首におよんだ明治天皇は、歌道振興のため定例歌会『向陽會』を京都に設けて御手許金で補助された。この会の名称は皇后さま(昭憲皇太后)から賜ったと伝えられている(同会事務局『霞会館』京都支所)。偶然の縁(えにし)といふべきか。

#### ② 大洋の岸物榮ゆ 伸ぶるは我の力なり

【訳】 土佐の大地は、黒潮が流れる太平洋に接し、動植物がことごとく榮え勢いが盛んである。私たちは伸びる力をもともと持っているのだ。

#### ③ 嗚呼幸多き天(あめ)と地(つち) 自然の啓示(さとし)かしこしや

【訳】 天地・宇宙の恵みの何と豊かなことか。大自然の訓(おし)えとはたらかに謹んで感謝しよう。

「天と地」は、古事記冒頭に「天地(あめつち)の初發(はじめ)の時…」と

「向」は「向かう」「向く」「面する」である。「陽」は「太陽」の「陽」であり、「日光がさすところ」「南面」「あたたか」「あきらか」などの意味を持ち、「生き生き躍動」「積極性」をも表す。

【筆者註】「陽」は「みなみ」とも読む。中国古典『書経』は、古代の帝が南面して(陽に向って)玉座に就いた模様を伝えている。「淺緑」は、よく晴れた初冬の朝空を思い浮かべたい。

「廣き心」は、(志すところがあつて)小事にこだわらず、いたずらに争わないう、おおらかな心と解される。

お題Ⅱ天 あさみどり澄みわたりたる大空の廣きをおのが心ともがな

校歌一番の冒頭は明らかにこの御製が元になっている。日露戦争中(一九〇四年)の作だが、なぜ校歌に? 敢えて想像を働かせてみよう。

まず、母校創立前後は世界大戦、ロシア革命とシベリア出兵、米騒動、戦後恐慌など、争乱の時代であった。「廣き心」の御歌の奥に潜む、平らかな世を希う憶念に、教諭が心を打たれたとしても不思議ではない。

一方、一九二〇年創建の明治神宮造



2. 野中兼山墓 (高知市ホームページ)



3. 高知市南部潮江付近 (Google Mapより)



4. 創立当時の土佐中學校校舎

あるように「宇宙」のこと。「自然」は英語「Nature」(the whole universe and every created thing)の訳語として明治期以降広く使われている。「啓示」はさとししめす、天啓。「かしこ(畏)し」は怖れ多く有難いこと。ここは、自然と共に生きてきた日本人の心が、そのまま歌の調べとなっている一節だが、開発の代償として地球環境を損い続けている現代人への、ささやかな申し立てかもしれない。

★対句、押韻、七五調

ここで校歌の形式を眺めてみよう。一番では①節が「空(天)」と「自(心)」、②節が「岸(地)」と「我の力」を歌って「対(つい)」をなしていることがわかる。また、各々の語尾「な」と「

第二章 校歌三番

り」は韻(いん)を踏んでおり、漢詩文の手本を見る感がある。また、我が国の詩歌によく見られる「七五調」の音律で終始している。以上は校歌一番の場合だが、この基本形が校歌全般に行きわたっていることで、格調の高さと調べの軽快さを生んでいるように思われる。

① 孕湾頭(はらみわんとう)軒高く兼山碑下(けんざんひか)に庭清し

【訳】 孕湾の先潮江に軒高々とそびえる我がが学び舎は、藩政時代の政治家野中兼山が眠る(写真2)筆山の麓にあつて、清澄な気が流れている。

校舎が建った潮江村(当時)は水田地帯だったから、階上より孕湾や兼山を見晴らすことができた。山を背に水を臨む、往時のたたずまいが目に浮かぶ。(写真3、4)「庭」には「場」の意味もあり、ここでは「教えの庭」=学校のこと。「清し」は万葉集にもある大和言葉で、きれいな、穢れが無いこと。用例：清庭(さやにわ) || 斎(い)み清めた場所。

② 協力一致誓して 集ふ同袍(どうほう)意氣強し

「同袍」の「袍」は綿入れの衣服で、困窮のときには衣服を貸し合うほどの親しい間柄を言う。ここでは同郷の仲間と解してもよい。

他の存在を認めあつて相和し、共に成長することが出来たら、こんな愉快なことはない、一体となれば大きな力を生む。校外の方々から「土佐校生・卒業生の繋がりが、愛校心がすごい」との評をよく頂くところをみても、全寮制学園として発足した本校の校風は、運動会の櫓づくりとともに、健在といえよう。

③ 嗚呼勉(つと)めよや竭(つく)せよや 冠する土佐の名に合(かな)へ

【訳】 励もうではないか、おのれの最善を尽くして。多くの有為な人物を生んだ土佐の名に恥じないように。

「竭(尽)くす」はある限りを出すこと(広辞苑)。

「冠する土佐」は、「維新の際薩長土と並稱せられて土佐より人材多く輩出したりし」(開校記念碑文) 栄光をいう。

「合へ」は叶ふ(ちようどよくあう || 広辞苑)の命令形。

建学の理想を高らかに謳った場面である。創立百周年記念誌『筆山の麓 土佐中高一〇〇年人物伝』登場者の一人は、外科医一筋を貫いてきた人生の根底に、「医師たるものは患者のために働くという使命感と、校歌の最後の一節(冠する土佐の名に叶へ)の矜持(きようじ || 誇り)があつた」と述懐している。

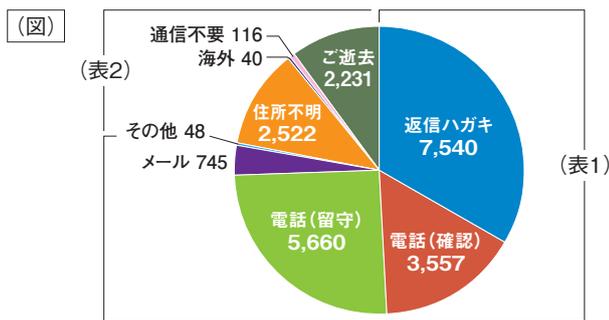
# 2020会員名簿調査報告

## 創立100周年記念2020会員名簿作成委員会

昨年12月、2020会員名簿の発行に際しては、同窓生の皆様には多大なご協力を頂き深謝致します。当初の予定では11月18日開校記念日発行でしたが、1ヶ月ほど遅れたこととお詫び申し上げます。

今回の名簿も、前回同様、全国の多くの学校で実績のある専門会社・小野高速印刷(株)に調査から製本まで一括して委託し、協賛広告の取り纏めは(株)高知広告センターに委託しました。両社の熱い「土佐校愛」、きめ細かな対応のお陰様で、今回も精度の高い名簿に仕上がりました。また、小村校長先生をはじめ、教職員の皆様のご協力に感謝いたします。そして、名簿協力金を振込んで下さった会員の皆様、厳しい経済情勢の中、協賛広告をして下さった多くの同窓生、企業に対しまして、衷心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。

- ★調査状況については、<図と表1、2>をご覧ください。
- ★名簿協力金を振込んで下さった同窓生、広告協賛をして下さった同窓生・企業については<表3>をご覧ください。



調査状況(表1)		人数	調査後状況(表2)		人数
確認内容	ハガキ返信	7,540	住所不明	2,522	
	電話調査	9,217	ご逝去	2,231	
	確認済	3,557	海外在住	40	
	留守未確認※	5,660	通信不要	116	
	メール	745			
	その他	48			

※3回電話をかけてもつながらなかった人数

申込み実績(表3)			人数
名簿協力件数	前回	3,771	
〃	今回	3,925	
(2021.3月現在)			
広告協賛件数	前回	296	
〃	今回	218	

土佐中高同窓会は、この5年間に1,500名の新しい会員が加わり、会員数は2万2千名を超えています。同窓会本部では、会員情報は徹底して管理しております。同窓会の発展、同窓生同士の交流に欠かせない会員情報は同窓会の命綱と言っても過言ではありません。メールやSNSの発達に伴い、特に若い会員は、同窓会に住所や勤務先変更、結婚等による改姓を届ける習慣がないようですが、同窓会は、同窓会からのお知らせや情報を、すべての会員に発信すること、確実に会員一人おひとりにお届けすることが重要と考えております。

会員情報変更は、土佐中・高等学校同窓会HP (<https://www.tosaobog.com/>)の会員情報変更ページからお知らせ頂くことを切に願っております。今後とも同窓会発展にご協力を宜しくお願い致します。

会員情報の変更はこちらから→



### 【同窓会名簿取り扱いについて】

1. 業者等には**絶対**に販売しないでください。
2. 廃棄する時は、シュレッダー等で確実な処理を行ってください。(学校に送っていただければ、責任を持って廃棄処分致します。送料:自己負担)
3. 疑わしい電話などあれば、直ちに同窓会本部までご連絡ください。(088-833-4394)

### 編集後記

コロナ禍の中ではありますが、本年もたくさんの方々のご協力を得て、「向陽22号」をお届けすることが出来ました。執筆して下さいました皆様には、大変なところ有難うございました。紙面をもちましてお礼申し上げます。

今号では、残念ながら楽しみにしておられる全国各地の支部活動報告を掲載することができず、通常16ページ構成が12ページになってしまいました。

同窓会本部は新体制になりました。引き続き宜しくお願い致します。

千頭 裕(58回生)

母校／同窓会本部／各支部	土佐中学・高等学校 事務	千頭裕	〒780-8014	高知市塩屋崎町1-1-10
	(TEL) 088-833-4394	(FAX) 088-833-7373	(E-mail) tosa@tosa.ed.jp	(HP) <a href="http://www.tosa.ed.jp">http://www.tosa.ed.jp</a>
	土佐中学・高等学校同窓会本部	会計幹事 千頭裕	〒780-8014	高知市塩屋崎町1-1-10
	(TEL) 088-833-4394	(FAX) 088-833-7373	(E-mail) jimukyoku@tosaobog.com	(HP) <a href="https://www.tosaobog.com/">https://www.tosaobog.com/</a>
	同窓会北海道支部 事務局長	山本隆昭	〒001-0018	札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305
	(TEL) 011-756-2817	(FAX) 011-756-2817	(E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp	
	同窓会関東支部 事務局長	浦田理有	〒104-0061	東京都中央区銀座2-14-1 森山ビル4階 中央銀座法律事務所
	(TEL) 03-5565-1315	(FAX) 03-5565-1316	(E-mail) m.urata@chuoginza-law.jp	(HP) <a href="http://www.tosako-kanto.org/">http://www.tosako-kanto.org/</a>
	同窓会東海支部 事務局長	瀬沼憲司	〒455-0064	名古屋市中区本宮町6-7-5 フォレスト本宮602
	(TEL) 052-837-5834	(E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp	(HP) <a href="http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/">http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/</a>	
	同窓会関西支部 事務局長	藤原由親	〒541-0046	大阪府中央区平野町1丁目7番1号 堺筋高橋ビル6F 税理士法人アクセス 気付
	(TEL) 080-9166-2400	(FAX) 06-6110-5419	(E-mail) y-fujiwara@act-cess.jp	
	同窓会広島支部 事務局長	大谷準一	〒734-0007	広島市南区皆実町6-3-26-902
(TEL) 082-253-5759	(FAX) 082-254-7523	(E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp	(HP) <a href="http://tosa-hiroshima.xii.jp/">http://tosa-hiroshima.xii.jp/</a>	
同窓会香川支部 事務局長	野村喜久	(担当=福原俊介)	〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株)	
(TEL) 090-7780-3722	(E-mail) fukuhara14443@yonden.co.jp			
同窓会徳島支部 事務局長	菊池 義倫	(担当=岡林将史)	〒770-0841 徳島市八百屋町3丁目10-2 四国銀行徳島営業部	
(TEL) 088-622-4141	(FAX) 088-623-6676	(E-mail) starevue0814@icloud.com		